次に逢うときは、
もっと穏やかになっているだろう。

めずらしくあの頑固親父から電話がきた。
よほど孫と遊びたいらしい。
雨は三日三晩降ったそうだが、帰省するには心配ないという。
大雨のたびによく氾濫した地元の川も、
ダムができて昔より安心して暮らせるようになった。
それがもっと良くなるそうだから、
ますます親父の電話が増えるかもしれないな。

ダムで、川と寄り添う暮らしを守りゆく。

家族の心まで近づけたい。清水建設のしごとのひとつです。

鹿野川ダム再生

愛媛県大洲市・西予市を流れる県内最大の河川、肱川。流域では度重なる水害を経験してきました。豪雨対策として、あらかじめダムの貯水位を低下させる対策が必要とされています。そこで既存の鹿野川ダムを改良。新たにトンネル方式の放水路を設ける国内初の工事を行っています。これによりダムの洪水調節容量を増強。流域の洪水や自然災害から住民の暮らしに、より安心をもたらしていきます。

鹿野川ダム 洪水調節機能改造事業

鹿野川ダムは、1960年に清水建設が施工した多目的重力式コンクリートダムです。洪水調節容量増強のため、ダム右岸側に新たにトンネル方式の放水路「トンネル洪水吐」を設ける国内初の工事を行っています。

ストック効果
鹿野川ダム

子どもたちに誇れるしごとを。
SHIMIZU CORPORATION
清水建設